

高齢者施設等における **4 回目接種** に向けた必要な準備等について (施設内での新型コロナワクチン接種)

令和4年4月18日 新型コロナウイルスワクチン調整室作成

1 コロナワクチンの3回目接種（概要）

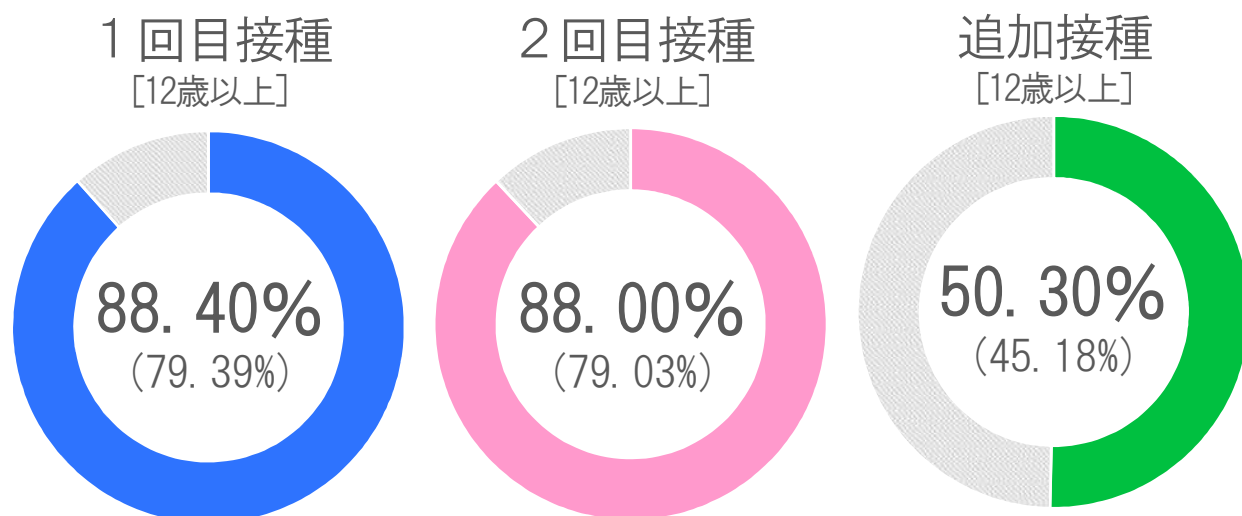
- 新型コロナワクチンの3回目接種については、1・2回目と同様、予防接種法上の臨時接種として、厚生労働大臣の指示のもと、都道府県の協力により、市町村が実施
- 3回目接種に係る費用は、**全額公費負担**のため、費用は**無料**
- 3回目接種を含むワクチン接種の実施期間、3回目接種の対象者及び使用するワクチン等については次のとおり。

【実施期間・対象者・使用ワクチン・追加接種の回数】

実施期間	令和3年2月17日(住民接種は令和3年4月12日)から 令和4年9月30日まで （1、2回目の接種も可）
対象者	2回目接種を受けた 12歳以上 の希望者（R4.3.25改正）
接種 間隔等	2回目接種の完了から、 6か月以上（当初は原則8か月以上）の間隔 において、1回の追加接種（3回目接種）を実施
使用する ワクチン	mRNAワクチン(ファイザー社製又は武田/モデルナ社製のワクチン)を使用 ※12歳～17歳はファイザー社製のみ

2 コロナワクチンの接種率

接種率



※ 「接種率」は、接種回数を分子とし、分母については、令和3年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口をもとに、12歳以上の人口としています。（括弧内は、全市民を分母とした接種率です。）

[4月15日24時現在]

3 国事務連絡（R4. 3. 25）の内容①

令和4年3月25日付け、厚生労働省から『[新型コロナウイルス追加接種（4回目）の体制確保について](#)』が、各自治体へ発出。その主な内容は次のとおりです。

■ 4回目接種体制の準備

4回目接種の実施については、引き続き、審議することとなるが、[実施が決定した場合、速やかに接種を開始できるよう、各自治体は4回目接種体制の準備を始める](#)とともに、[関係機関等への周知](#)を行うこと。

4 国事務連絡（R4. 3. 25）の内容②

■ 4 回目接種の接種対象

引き続き、審議することとなるが、3 回目接種を受けた全ての住民が対象となることも想定して準備を進めること

■ 4 回目接種の接種間隔

必要な審議を経て方針が決定し次第、速やかにお知らせする。

■ 接種券の発送等

各自治体は、現時点から 2 か月程度を目途に、接種券や会場の手配等、準備を進めること。

■ 4 回目接種のワクチンの種類

ファイザー社及び武田/モデルナ社を想定

5 国事務連絡を踏まえた本市の対応

■ 4 回目接種に向けた情報発信

追加の情報や国の方針が決定し次第、速やかに情報発信を行う。

■ 接種対象

国で審議中であるが、高齢者施設・障害者施設の入居者・従事者等は優先度が高いと想定

■ 4 回目接種の接種間隔

国で審議中であるが、6 か月より短縮される可能性がある。

■ 接種券の発送等

本市では、5 月末の発送開始に向けて準備を進める

6 『参考』 県の3回目接種前倒し方針

【参考】追加（3回目）接種における前倒し接種にかかる**神奈川県基本方針**

- ① 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設の入所者及び従業員、医療従事者
 - ② その他高齢者施設入所者及び従事者
 - ③ 通所サービス事業所の利用者及び従事者
 - ④ 病院または有床診療所の入院患者
- ※優先順位①→②→③→④